

2025年9月28日

(一社) 甲州青年会議所
理事長 菊島 直紀 殿

委員長所見

今回の8月例会実施にあたり、計画書作成の段階から雨宮副理事に作成方法を一度教えていただいたが自身では作成することが困難でした。しかし、自身から作成することが出来なかったが、出来ないことを副理事などに相談をすることが出来ませんでした。その結果、できていないことに対しての焦りで連絡を疎かになってしまいました。その結果、守屋顧問や菊島理事長にも協力をしてもらうことになり計画の作成していくことになりました。計画構築では菊島理事長に計画のアイデアを言語化してもらいながら守屋顧問や雨宮副理事と構想を練っていきました。計画書の作成に関しても相談をすることが出来なく計画が進まず雨宮副理事が主として作成していただき、自分は一度に大量の作業をこなすことが出来ないため雨宮副理事から少量ずつタスクを受け取り、実行していきました。連絡が取れなくなってしまうこともあったため自分の彼女が今回の事業でボランティアスタッフとして参加しているため青少年委員のLINEグループに参加してもらい連絡がつくように対策を行いました。計画の上程では、雨宮副理事が事業計画を主として作成してもらっているため自身の言葉で上程することが出来ておらず、様々な意見をいただくが返答をすることが出来ていなかった。そんな中で当たり前のことではあるが少しずつ自身の連絡がつくようになり少量ずつではあるがタスクを実行することが出来るようになりました。また、自身の市長として市役所などに連絡をする際に以前では頭が白くなってしまい話す内容がうまくまとめることが出来ませんでした。まだまだうまくまとめて話すことはできないが頭が白くなるのが減り放さなければならない内容をしっかりと伝えることが出来るようになりました。しかし、報告・連絡・相談についてはまだまだ出来ておらず確認不足からのタスクを誤って実行してしまうこともあった。まだまだ出来ていない部分も多くありましたが周りのサポートのおかげで事業が実施することが出来ました。事業当日では会員皆さんの協力のもと、子どもたちには事故や怪我もなく事業を終了することが出来ました。事業1日目の夜には副理事長より当日の動きは良かったとの言葉もいただくことが出来ました。報告書時には報告・連絡・相談についてまだまだ出来ておらず報告書作成を雨宮副理事が主として作成をしてもらってしまいました。今回の事業を通して自身の問題点、改善しきれなかった部分として報告、連絡、相談することが出来るよう何か問題や違和感があればすぐに連絡ように普段より密にとるようにしていきます。

一般社団法人甲州青年会議所青少年委員会
委員長 坂本一馬